

# STAGE PIANO MP11

## Ver1.16 アップデート説明書



必ずお読みください

ファイル“MP11\_040.SYS”, “MP11\_2C0.SYS”, “MP11T3F6.SYS”は、カワイステージピアノ MP11 をアップデートするためのシステム・プログラムとシステム・データです。ファイルの改変、MP11 のバージョンアップ以外の目的での使用は、故障やトラブルの原因となりますので絶対に行わないでください。

またインストール作業は、自己の責任にて行ってください。弊社は、MP11 本体、使用デバイス、保存されたデータ等のトラブルに対するいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

### ◇主なバージョンアップ内容

Ver1.16(2019 年 2 月)

#### 1.発音

- ピアノ音を最弱打で弾いた際稀に発生する、僅かなリバーブノイズを改善しました。

#### 2.鍵盤

- 鍵盤スイッチ検出の信頼性を改善しました。

Ver1.15(2017 年 12 月)

#### 1.MIDI

- MIDI 受信には Global Transpose が効かないようにしました。(送信するキーナンバーに反映されます)

#### 2.SOUND/SETUP

- MIDI セクションが SOLO モードに設定された SETUP を選んだ際、一時的に音が残ることがある症状を改善しました。
- エクスプレッションペダルを絞ったままペダルワウを割り当てた SOUND を選ぶと、音量が小さいままになる動作を改善しました。
- 一部の SETUP の切り替えに関して、エフェクトパラメーターがより自然に切り替わるように改良しました。
- SOUND モードから SETUP を保存する場合は、表示中の SOUND 名が SETUP 名の初期値になるように改良しました。

#### 3.ペダル

- ペダルワウのレスポンスを改善しました。

#### 4.メトロノーム

- メトロノーム動作時の[EXIT]、[EDIT]ボタンの LED 点滅を、[EXIT]を 1 拍目として拍子を表すように変更しました。

#### 5.その他

- プロテクトのかかった USB メモリーを使用した際、エラー表示が一定時間で消えないことがある症状を改善しました。

## Ver1.14(2016 年 10 月)

### 1.メトロノーム

- 音量の設定範囲を、“0～10”から“0～127”に変更しました。

### 2.SOUND

- モジュレーション・ホイールとダンパーペダルの両方に、同じダンパーペダル機能を割り当てた場合、その設定を保存すると、SOUND 選択時に誤動作することがある症状を改善しました。

## Ver1.13(2016 年 3 月)

### 1.パネル

- 電源オン時のモジュレーション・ホイールの位置を、設定に反映させないようにしました。

### 2.発音

- ConcertGrand のプリセットエフェクトを、「4-BandEQ」からより演算精度の高い「7-BandEQ」に変更しました。
- StandardPiano と UprightPiano 音色の調律(ストレッチチューニング)が改良されました。

\*注: ストレッチチューニング設定で「Sys.User1～5」を選んでいる場合は、“Stretch=Normal”にリセットしてください。

## Ver1.12(2015 年 7 月)

### 1.USB

- 電子ピアノでフォーマットした USB メモリーに対して、Windows 7 がアラートを表示しないようにしました。

### 2.オーディオレコーダー

- 一部の USB メモリーで、録音終了時に誤動作することのある症状を改善しました。
- 一部の USB メモリーでのオーディオ録音の音飛び等のエラーを改善しました。
- 未対応のビットレートのフレームを含む一部の MP3 ファイルの再生を改良しました。

### 3.その他

- 一部の操作や表示について改良しました。

## Ver1.11(2015 年 3 月)

### 1.ダンパーペダル/ソステヌートペダル

- ペダルを踏みながら同じ鍵盤を繰り返し弾くと、鍵盤を押さえたままペダルを離した時に音量が小さくなる動作を改善しました。

### 2.MIDI

- SYSTEM:MIDI/Receive Mode = Panel 設定時、CC#07(Volume)を受信するように変更しました。

## Ver1.10(2015 年 1 月)

### 1.オーディオレコーダー

- オーバーダビング録音のカウントインスタートを可能にしました。(カウントイン終了後メトロノームが止まります。)
- 録音ゲインの初期設定を「+9dB」に変更しました。
- 大容量の USB メモリ使用時に発生する事のあった WAV フォーマットの録音エラーを改善しました。
- ●(録音)ボタン操作時の待ち時間を改善しました。(※注1)

### 2.MIDI レコーダー

- A-B リピート、繰り返し時に発生するノイズについて改良しました。

### 3.SETUP

- [EDIT]メニュー、3.SOUND:Volume パラメーターを「[C]MasterVol」に変更し、全体音量を調節できるようにしました。
- セクション毎のフェーダーを操作した際、設定値をポップアップ表示するようにしました。
- メトロノーム音量を SETUP へ記憶するようにしました。

また、リズムパターンが鳴っている間は SETUP を切り換えてもリズムパターンの音量が変わらないようにしました。

### 4.ダンパーペダル

- [SYSTEM]メニュー、ペダルキャリブレーション(Right Pedal calibration)機能を改良しました。  
[SYSTEM]メニュー、Pedal : HalfAdjust パラメーター(※注 2)が、使用するペダルに最適な設定で調節できるようになります。
- EXT モードの[EDIT]メニュー、6.Control : HalfPedVal パラメーター(※注 3)に、“MidHigh”“MidLow”設定を追加しました。  
ダンパーペダルをゆっくり踏み込みながら外部音源を演奏し、ペダル効果が自然にかかり始める設定を選んでください。

HalfPedVal 設定	コントロールチェンジ 64 番 送信値
Normal (初期設定)	0~127
High	0, 64~127
Low	0~63, 127
MidHigh	0, 50~100, 127
MidLow	0, 25~75, 127

### 5. その他

- USB メモリ挿入時のポップアップ表示を、USB 機能へアクセスしようとした場合のみ表示するようにしました。
- EFX,AMP,EQ のパラメーターをノブで操作した際に発生するノイズを改良しました。
- ペダルに EFX2 の“Rotary Slow/Fast”パラメーターを割り当てた場合は Slow/Fast がトグルで切り替わらなかった動作を改善しました。
- ピアノ音色の Cutoff パラメーターを下げた時の、タッチによる音の変化を改良しました。
- その他、一部の操作や表示について改良しました。

※注 1:録音後 SAVE または CANCEL 操作を行わない場合、一時ファイル(\*.tmp)が USB メモリ内へ残ります。

※注 2:HalfAdjust パラメーターは、ダンパーペダルを踏み込んでいく時の、効果がかかり始めるペダルの位置を調節します。

※注 3:ソフトウェア音源等の外部音源は、受信されるコントロールチェンジ 64 番の値でペダル効果のかかり具合がコントロールされますが、使用する音源によってそれぞれ効果のかかり始める値が異なります。HalfPedVal パラメーターは、使用する音源に合わせて、この送信するコントロールチェンジの値を選ぶことができます。また、設定は ZONE 毎に選べますので、複数の ZONE で異なる音源をコントロールする場合も、それぞれで最適な効果を得ることが可能です。

## Ver1.07(2014 年 8 月)

### 1.出力

- 出力ゲインを+4dB アップしました。

### 2.発音

- ダンパーレゾナンス効果の鍵毎のかかり方を改良しました。
- Concert Grand の一部の鍵の音の減衰について改良しました。
- オクターブレイヤー音に音律設定を効かせるようにしました。
- [EDIT]>4.Tuning で‘Temperament=User’(ユーザー音律)が選ばれている場合も、  
‘Temper.Key’(音律の主音)の設定を音律に反映させるように変更しました。

### 3.パネル

- リバーブタイプ変更の切り替え時間を改良しました。
- Zone Octave, Zone Transpose, Pedal On/Off 設定を、SOUND 選択では変更しないようにしました。
- [EXIT]ボタンでの SETUP モードから SOUND モードへの展開を止め、SOUND モードの設定が上書きされないようにしました。
- パネルロック機能を、PIANO/E.PIANO/SUB セクションのボリューム・フェーダーに効かせるようにしました。
- その他、一部の操作性や表示について改良しました。

### 4.ペダル

- PIANO セクションについて、SOUND 変更後のソフトペダルの動作を改善しました。

## ◇V1.06 追加機能について

### User Key Volume

---

UserKeyVolume では、88 個の鍵盤それぞれのボリューム調整を行うことができます。

[SYSTEM] UserEdit で保存したユーザー設定を、[EDIT]メニュー 5.KeySetup : UserKeyVol で SOUND 毎に選択できます。

#### 1. UserKeyVolume の設定に入る

[SYSTEM]ボタンを押し、カーソルキーを押して UserEdit を選択し、[F4]ボタン(NEXT)を押します。

#### 2. ユーザー番号を選択する

ノブ[C]を回して設定したい UserKeyVolume のユーザー設定番号を User1~5 から選択します。

[F4]ボタン(NEXT)を押し、88 鍵それぞれのボリュームを変更する画面へ移ります。

#### 3. UserKeyVolume を変更する

変更したい鍵盤を押さえ、ノブ[D]を回してボリュームを変更します。

ノブ[C]を回して変更したい鍵盤を選ぶこともできます。

#### 4. UserKeyVolume の設定を終わる

保存したい場合は[F2]ボタン(SAVE)ボタンを押し、破棄したい場合は

[F3]ボタン(CANCEL)を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。

#### 5. UserKeyVolume 設定を保存する

[F2]ボタン(YES)を押すと、保存されます。

[F3]ボタン(NO)を押すと、前の画面に戻ります。

\*[+ / YES][ - / NO]ボタンでも保存 / キャンセルできます。

保存後、自動的に [EDIT]メニューの 5.KeySetup 3/4 ページが表示されます。

新しく設定された UserKeyVolume 設定は、現在選択中のセクションに自動的に選択されます。

## User Stretch Tuning

---

88 個の鍵盤それぞれのチューニングが設定できます。

[SYSTEM] UserEdit で保存したユーザー設定を、[EDIT]メニュー 4.Tuning : Stretch で SOUND 毎に選択できます。

### 1. UserStretchTuning の設定に入る

[SYSTEM]ボタンを押し、カーソルキーを押し、UserEdit を選択し、[F4]ボタン(NEXT)を押します。

### 2. ユーザー番号を選択する

ノブ[D]を回して設定したい UserStretchTuning のユーザー設定番号を User1~5 から選択します。

[F4]ボタン(NEXT)を押し、88 鍵それぞれのチューニングを変更する画面へ移ります。

### 3. UserStretchTuning を変更する

変更したい鍵盤を押さえ、ノブ[D]を回してチューニングを変更します。

ノブ[C]を回して変更したい鍵盤を選ぶこともできます。

### 4. UserStretchTuning の設定を終わる

保存したい場合は[F2]ボタン(SAVE)ボタンを押し、破棄したい場合は

[F3]ボタン(CANCEL)を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。

### 5. UserStretchTuning 設定を保存する

[F2]ボタン(YES)を押すと、保存されます。

[F3]ボタン(NO)を押すと、前の画面に戻ります。

\*[+ / YES][ - / NO]ボタンでも保存 / キャンセルできます。

保存後、自動的に [EDIT]メニューの 4.Tuning 3/4 ページが表示されます。

新しく設定された UserStretchTuning 設定は現在選択中のセクションに自動的に選択されます。

## Right Pedal Calibrtation

---

使用するペダルに合わせて、右ペダルのハーフペダル動作を調整できます。

付属ペダル以外を使用する場合や長期間の使用でペダルの状態が変化した場合等、本体側で最適化することができます。

### 1.RightPedalCalibration の調整画面に入る

[SYSTEM]ボタンを押し、カーソルキーを押し、Pedal を選択し、[F4]ボタン(NEXT)を押します。

カーソルキーを押し、システムメニューの Pedal の 1~2 ページ目を表示します。

さらに[F4]ボタン(R.P. CAL)を押して、調整画面をディスプレイに表示します。

### 2.RightPedal を調整する

右ペダルを踏み込み、その後離します。

### 3. RightPedal の調整を終わる

[F4]ボタン(EXEC)を押して、ハーフペダル動作の調整を実行します。

自動的に計算、保存され、調整を終了します。

## EffSW “Fixed” Mode

---

[SYSTEM]メニュー Utility: EffSW Mode に “Fixed” Mode が追加されました。

音色を切り替えたとき、[EFX][REVERB][AMP]ボタンの設定が変わらないようにすることができます。

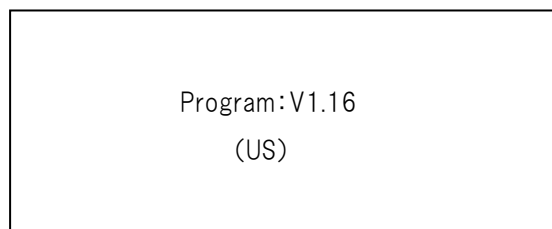
モード	説明
Preset	音色を切り換えたとき、エフェクトの設定は音色に伴って変更されます。
Temp.	音色を切り替えたとき、ボタンの ON/OFF 状態は変更されません。
Fixed	音色を切り替えたとき、エフェクトの設定は一切変更されません。

\* 初期値は Preset です

### ◇インストール作業に入る前に・・・

[STORE]ボタンを押しながら電源を入れてください。

起動画面表示の後にバージョン番号が表示されます。



“V1.16”以上の番号が表示された方 →インストールの必要はありません。

それ以外の番号が表示された方 →下記へ進みインストールを行ってください。

### ◇Ver1.16 へのバージョンアップ方法

ダウンロードした3つのファイル“MP11\_040.SYS”, “MP11\_2C0.SYS”, “MP11T3F6.SYS” の入ったUSBメモリーをMP11本体に挿入し、システム・プログラムをインストールします。

★注 1: このインストール作業で本体に保存している SOUND, SETUP, POWER ON セットアップは初期化されますので、大事なデータは、Save(セーブ/保存)機能(取扱説明書 P.92)を使って必ず事前に USB メモリーに保存してください。

#### 操作 1

3つのファイル“MP11\_040.SYS”, “MP11\_2C0.SYS”, “MP11T3F6.SYS”を全て USB メモリーのルートディレクトリ(一番上の階層)にコピーし、MP11本体に挿入します。

★注 2: USB メモリーは、FAT 又は FAT32 でフォーマットされているものを使用してください。

#### 操作 2

セットアップ(SETUP)セクションの[6][7][8]ボタンを押しながら電源を入れてください。

“Flash Programing””found SYS file !”と表示されたら、インストールが開始されます。

“Boot End”と表示されたら、インストールは終了です。

★注 3: インストールが開始されない場合は、USB メモリのフォーマットが正しいこと、ファイルが正しく USB にメモリーにコピーされていることを確認の上、操作1からやり直してください。

★注 4: USB メモリーの故障等の原因になりますので、インストールが開始されたら終了するまで決して電源を切らないでください。万が一電源を切ってしまった場合は、USB メモリーの動作を確認の上、操作1からやり直してください。

### 操作 3

一旦電源を切り、レコーダー(RECORDER)セクション下段の[A<->B][<<][>>]ボタンを押しながら電源を入れてください。次の図の○で囲まれた部分が“CFCA:Pg” “CC06:St” “6FFF:Tn”と表示されたことを確認し、電源を入れなおしてください。

ProgramCheckSum	
80B9:All	
A937 :Bt	CFCA:Pg
CC06:St	38DC:Rc
0142:Rm	B147:Cd
02D6:Id	6FFF:Tn

これでインストール作業は終了です。

### ■お問い合わせ先 について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

#### ◆お客様相談室

Tel: 053-457-1311 / E-mail: customer@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00～12:00/13:00～17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

#### ◆お客様サポート・お問い合わせフォーム

<http://www.kawai.co.jp> の「お客様サポート」よりお進  
みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。

詳細は本機同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

 株式会社河合楽器製作所

電子楽器事業部

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地

<http://www.kawai.co.jp>